

東海地区長期処理計画（案）について

・平成30年度長期処理計画

東海地区の長期処理計画策定にあたり、4県7市と連携し、JESCO豊田は、登録事業者の意向を踏まえ、4県7市ごとの年度別処理予定量を算出し、また、4県7市は、特措法や電事法の届出があるもののJESCO登録が行われていないPCB廃棄物の処理予定量や掘り起こし見込量等を推計し算出しました。これらを組み合わせ、より実態に近い長期処理計画を策定し、前回の事業部会でご報告させていただきました。

・平成30年度の処理実績との比較

まず、添付資料2-1で、前回の事業部会において、ご報告しました長期処理計画について、平成30年度の処理計画と処理実績を比較し、計画どおり処理が進捗しているかを確認いたしました。コンデンサー、保管容器で若干計画値を下回っていますが、次年度以降、ずれ込んでも特に問題のない数量で、概ね計画どおり処理が進捗しています。

・令和元年度長期処理計画

添付資料2-2では、平成31年3月末のデータを基に、東海地区の長期処理計画を更新いたしました。今回も処分期限の令和3年度までに処理が完了する計画となっています。

○豊田処理物における今後の東海地区PCB廃棄物処理計画 【特措法届出・未登録、電事法届出・未登録、掘起見込量含む】

2019年6月末現在

区分	未搬入量(残存量)				処理計画(※8)			
	JESCO登録 未搬入量(※1) (保管中・使用中)	特措法届出・ 未登録(※2) (保管中)	電事法届出・ 未登録(※3) (使用中)	掘起見込量 (※4)	2019年度 (令和元年度) 7月以降	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)
変圧器類	222	24	0	22	126	82	14	—
コンデンサー類	6,393	263	136	132	4,030	1,632	731(※9)	—
廃PCB	704	445(※5)	—	—(※7)	166(※10)	310(※10)	228	—
	2,576	2,576(※5)	—	—(※7)	0	1,288	1,288	—
保管容器	1,191	—(※6)	—	—(※7)	568	617(※11)	6(※12)	—

【留意事項】

- ※1 JESCO登録未搬入量は、2019(令和元)年6月末現在、JESCOに登録があるが、未搬入の量を記載。【搬入ベース】
- ※2 特措法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2018(平成30)年3月末データ)
- ※3 電事法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2017(平成29)年3月末データ)※未更新のため昨年と同数値。
- ※4 各自治体で掘り起こし調査の実績等から処理年度ごとに算出。
- ※5 各自治体でJESCO登録情報と届出情報を突合し、JESCO登録がない数量を算出。
- ※6 容器のみの保管事例が少なく、届出情報から保管容器の抽出が困難なため計上なし。
- ※7 北九州地域の集計が無く、掘り起こし調査で見られることが稀であるため計上なし。
- ※8 JESCO登録済みの未搬入廃棄物は、JESCOが把握している年度ごとの搬入予定量を計上し、JESCO登録が未だの廃棄物は、各自治体で処理年度ごとに配分。
- ※9 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定のコンデンサー260台は2021(令和3)年度に配分。
- ※10 大型金属容器7基に収納のPCB油について、2019(令和元)年度:2基(ドラム缶約85本分)、2020(令和2)年度:3基(ドラム缶約130本分)、2021(令和3)年度:2基(ドラム缶約78本分)に配分。
- ※11 泥状物が付着したスクラップ状ドラム缶547缶について2020(令和2)年度に配分。
- ※12 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定の保管容器4箱について2021(令和3)年度に配分。